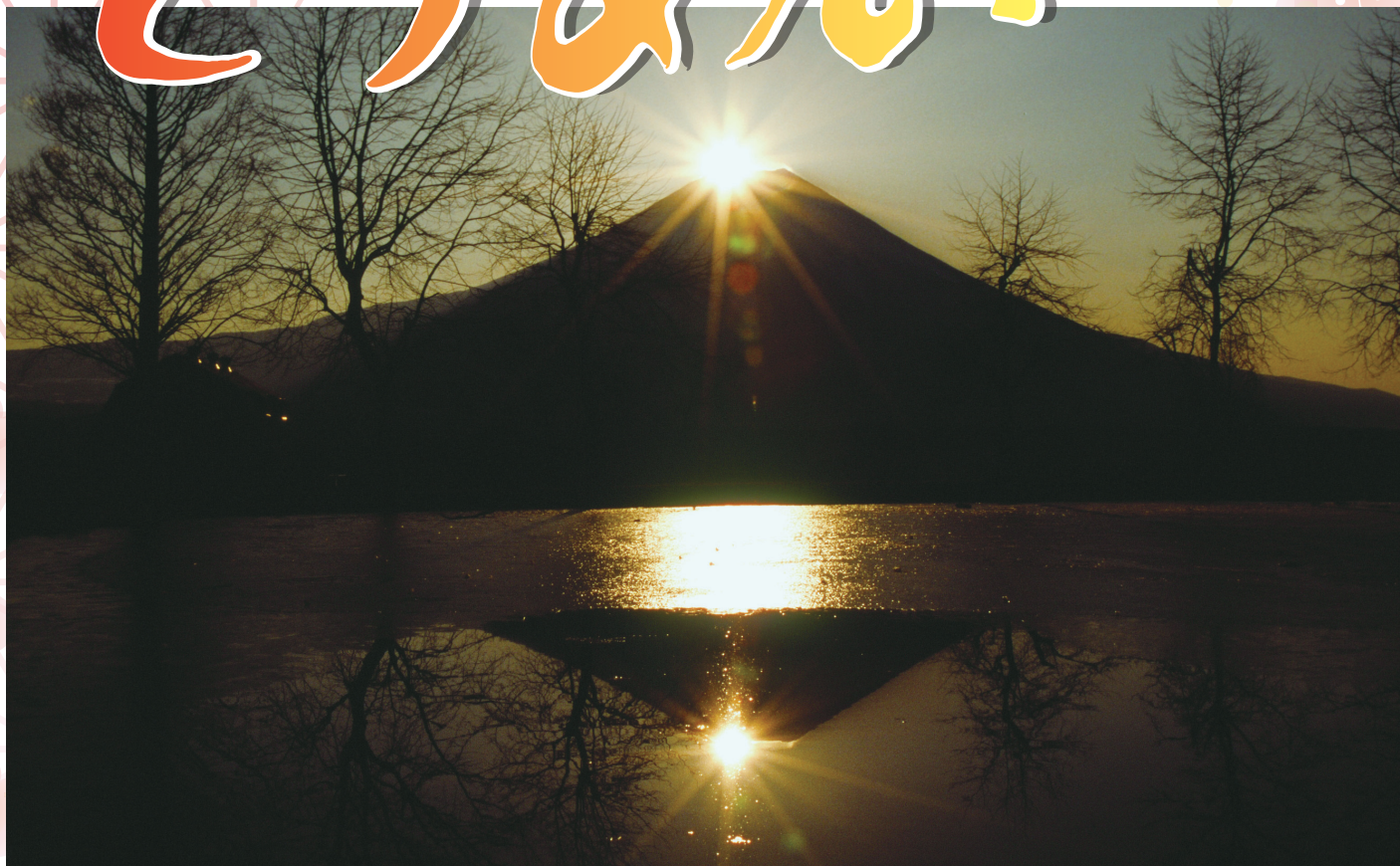


# とうめい



## ダイヤモンド富士

静岡県朝霧高原旧農大跡地の小さな池で撮影しました。

冬の寒い日、フィルムカメラで日の出を待ち、マニュアルでシャッターを切った瞬間、撮れたと感じました。

萩原 睦

### ●目次

ダイヤモンド富士	1P	リハビリ通信「肩の痛み」	5P
新年のごあいさつ	2P	医療安全講演会	
理事長 野村 直樹		働く仲間	6P
院長 北野 義和		第一事業部研修会	
とうめい宮の里クリニック	3P	がん相談支援センター	
かけはし ～登録医紹介～	4P	歳時一覧	7P
第2事業部		ペットのはなし	8P
訪問看護ステーションもみじ		編集後記	
		関連施設一覧	



# 新年あけましておめでとうございませう



三思会 理事長  
野村 直樹

西暦2023年、あけましておめでとうございませう。

まずは旧年中の皆様よりのご支援、心より感謝申し上げます。やはり昨年もコロナの影響を大きく受けた年となりました。重症化率や死亡率は高くはないようですが、コロナ陽性患者様が増加してくると他の病気で入院を要する患者様にも陽性者が多くなり、ベッドコントロールに苦慮し、救急、急性期医療にも大きな影響をおよぼし、また職員管理にもとても神経を使います。医療介護を提供する我々の事業を継続するという観点においても苦しい年でありました。特にコロナ対応と、救急医療の継続は同時に考えていかななくてはならないと思いますし、ひいては何よりもコロナに対する治療薬が一般化されることが望まれるところではあります。

さらに、地球温暖化問題やマイクロプラスチック等の環境問題、フードロス問題などは世界レベルではあるものにとっても身近な問題でありますし、近隣国のきな臭い動きの中で本邦の治安に関する問題も切迫しています。さらにさらに急激な円安と物価高という経済的な問題も経験しました。

そして2025年問題と称される本邦の超高齢社会によいよ突入します。それらすべてがリンクして動いていくものと思えますが、今まで以上に中長期的にものを考え、動くことが重要であると思えます。

悩ましい話ばかりになりましたが本年はそれらの問題に興味を持ち、しっかりと対峙していく年になると思えます。昨年11月に宮の里地域の医療過疎、高齢化に対して厚木市生活利便施設立地促進事業の一環として設立したとうめい宮の里クリニックのさらなる整備をしてまいります。またコロナ禍や他の災害等においても停滞することのない組織的な強い体質づくり、特に東名厚木病院はその使命である地域医療支援、総合的集学的ながん対応、そして創設以来最も大切にしてきた救急医療をしっかりと担っていきたくと思えます。そして健診事業、透析事業は地域の皆様の需要に的確に対応してまいりますと思えます。また本格化する超高齢社会に対する介護福祉事業も充実させてまいります。

地域社会の変化に漫然と過去を継続するのではなく的確にそして柔軟に対応できる風土を今まで以上に築きたいと思えます。

地域の皆さん、医療介護に携わっておられる皆さん、その他関係団体の皆さん、そして行政の皆さん達とのしつかりとした連携のもと、当法人としての責任を果たせていけることを望みます。

本年も皆様からのご支援、ご指導、ご鞭撻あらゆるものをいただきながら成長させていただければ幸いです。



院 長  
北野 義和

2022年もコロナで始まり、コロナで終わった年でした。しかし、1年前と違うのは、新型コロナウイルス感染症という未知であったものが、かなり明らかになってきたことです。そして治療薬も開発されました。残念ながら、インフルエンザ治療薬ほどの特効薬とまではいきませんが、治療薬があるというのは最大の強みです。そして何より、いまのコロナの症状は非常に軽症であり、ほとんどの方は数日で症状も改善し、1週間もすると治ってしまうという、いわゆる風邪よりも軽く済んでしまう臨床経過です。とはいえ、変異株の問題、高齢者での重症化するリスクの問題、そして後遺症の問題などは残っており、全く安心できるという状態ではありません。昨年の暮れには、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを、季節性インフルエンザと同等の「5類」に引き下げたことを、政府も本格的に検討し始めました。今年、医療現場にどのような変化が起こるか未知ですが、改善することを望むするばかりです。

さて、当院は昨年地域医療支援病院としての役割を担いつつ、救急医療とがん治療の両輪に力を入れてきました。特にがん治療は、地域医療構想のもと、診断から治療、そして緩和ケアまで、この県央医療圏内で完結することを目標として取り組んでいます。当院では、さまざまなステージの患者様を受け入れており、特に緩和ケア病棟は在宅復帰までも検討しており、入院しても自宅に帰宅できた患者様、その家族の方も大変喜んでいきます。また、外来での化学療法や放射線治療にも力を入れており、昨年は放射線治療センターも立ち上げ、より一層積極的な活動をしていく所存です。昨年も多くは医療機関より、患者様をご紹介して頂いておりますが、今後も、がん拠点組織としての責務を果たし、精進していきたくと思っております。引き続き宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、本年も東名厚木病院は、地域支援病院としての誇りと責任を持ち、チーム医療で医療の質を高く担保し、地域住民の皆様ならびに医療機関の皆様に一層信頼され、愛される病院を目指していきたいと思っております。当院の理念を胸に、今後も職員一丸となつて頑張りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

# とうめい宮の里クリニック 開院



内覧会当日、受付に並ぶ地域の方々

## ●内覧会・開院式開催(10月15日)

地域の方を対象にした午前の部では、スタッフが院内をご案内し、間下院長や日野本部長が健康相談等の対応を行いました。地域の皆さんからは、再開を待ち望んでいたという声が多く聞かれ、どんな医療が受けられるのかなど、積極的にスタッフに質問している姿がみられました。

その後、自治会長や厚木市関係者、建設に関わってくださった方々を招いての開院式が行われ、クリニックへの期待や感謝の言葉をいただきました。医療関係者を対象とした午後の部では、近隣の医療機関や介護施設等の方々が来院され、お祝いの言葉をいただき、今後の対応についてスタッフと情報共有をしました。全体での来院者は255名(地域・一般 234名・医療関係者 21名)と予想を超える大盛況で、内覧会を無事終了することができました。

## ●いよいよ11月1日よりオープン

現在の診察は、月曜日～木曜日までですが、開院より予防接種などのお問い合わせをたくさんいただいております。少しずつですが、地域の皆様の期待に応えられるよう取り組んでまいりますので、これからもよろしくお願ひ致します。



ご挨拶をする間下院長



受付



調剤室



放射線撮影装置



待合



待合



厚木マラソンを応援

## 俊慈会 慶友いせはら整形外科

院長  
井上 元保



### 《略歴》

昭和63年 慶応義塾大学医学部 卒業  
平成15年 伊勢原協同病院整形外科  
平成27年 伊勢原協同病院副院長  
平成28年 同病院院長  
令和2年 同顧問  
令和3年 慶友いせはら整形外科管理者就任

### 《資格》

日本整形外科学会専門医  
日本整形外科学会スポーツ認定医  
日本整形外科学会リウマチ認定医  
日本整形外科学会運動器  
リハビリテーション認定医  
日本人工関節学会認定医  
日本医師会認定産業医

### 《所在地》

〒259-1131  
神奈川県伊勢原市伊勢原  
1-11-23  
電話 0463-79-9918



俊慈会慶友いせはら整形外科の井上元保と申します。伊勢原たかはし整形外科の高橋一弘先生にお声がけをいただき、昨年11月より伊勢原駅の北口に開院したクリニックに勤務しております。

東名厚木病院には、いつも緊急患者さんなどの受け入れなどで、大変お世話になり助かっています。連携室の対応などととても早くて、いつも感謝しております。

前職は伊勢原協同病院に18年間勤務し、膝関節外科を中心に診療に携わってきました。近年は、協同病院では、管理職に時間を取られることが多く、一般の整形外科診療にあたる時間が減っていたので、この1年間改めていろいろ勉強しながら勤務してきました。1年たちましたが、まだ緊張があります。

伊勢原協同病院に赴任して以来、膝関節を中心に、多くの手術や治療にかかわってきましたが、膝以外の患者さんを診る機会が減っていたため、クリニックにいらっしゃる様々な部位の症状を一人一人拝見し、少しでも改善できる方法を考える毎日です。手術以外の保存療法、薬物療法など、いろいろ基本から考える機会もありました。病診連携という面からみると送られる側から、送る側になりました。自院で治療困難な患者さんや手術をした方がよい患者さんを見極めて、しっかりと連携することを考えながら診療しています。

今後は、伊勢原協同病院で18年間診てきた患者さんの継続診察と、新しくクリニックに来院していただいた患者さんをしっかりと診療し、病診連携の診療所の立場で、地域医療に貢献できればと考えています。

今後も、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 第2事業部

### ♪ 医ケア見ならもみじへ ♪

平成28年4月より、訪問看護ステーションもみじは、複合型施設マザーホーム戸室へ移転しました。

当ステーションでは、ご自宅での療養生活を支援するため、お住まいに訪問し、小児・精神・難病・ターミナルなど幅広い疾患や年齢層を対象とした看護を提供しています。24時間体制により、夜間や休日の緊急対応や、かかりつけ医師と連携することで、医療ケアが必要な方やご自宅での看取りまで対応可能です。

訪問看護と合わせて、多機能型事業所にじいる、看護小規模多機能居宅介護事業いわしぐもと連携し、一体型サービスを提供しています。訪問看護とリハビリ、介護職種が協働し、地域の関係機関と連携に努めながら利用者やその家族を対象とした暮らし・生活を支える支援をしています。

ご自宅への訪問看護以外に、同一敷地内への看護師配置とご相談に応じ飛行機等の移動支援等、

事業展開しています。

また、厚木市から学校等訪問看護支援事業を受託し、日常的に医療的ケアが必要な児童・生徒さんが安心して通学できるようにサポートをしています。

今まで医療的ケアが必要なお子さまは、保護者同伴での学校生活を過ごすことが多く、保護者の負担も大きい状況でした。お子さんの成長・発達にはこども同志の関わりが重要です。医療的に必要な部分は訪問看護師で対応することで、お子さんが授業や学校行事に参加できるようになっています。今後は保育園も対応できるように案内をしています。

ひとりひとりに“自分らしく”を



社会医療法人社団三思会  
複合型施設マザーホーム戸室



# リハビリ通信 第62回

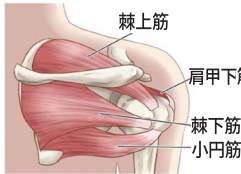
## 肩の痛み

リハビリの仕事をしていると、多くの方から肩の痛みについて相談を受けます。40〜50代の方に多いことから「いわゆる五十肩」と呼ばれる肩関節周囲炎ですが、多く原因が含まれています。

腕を吊り上げる機能を持つ肩はたくさんある筋肉が付着しているため、どの筋肉を痛めたかにより痛い動作や角度、痛みとを感じる場所に違いがあります。

図のように肩は筋肉に包まれ、可動範囲が広いため、無理に動かすと筋肉を傷つけた腱が切れてしまうこともありま

肩周辺のインナーマッスル(腱板)



出典:メディカルノート

「取り合えず動かしおこう！」と考えず、痛みや晴を感じたら安静を取り、整形外科の受診をお勧めします。痛めている場所をきちんと診断し、まずは関節を緩める体操から始

めるのが一般的です。

### 【関節を緩める体操】

コッドマン体操、振り子体操と呼ばれています。

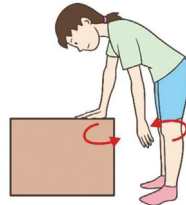
基本姿勢は片手を机につき、腰をかがめて痛い手を下に垂らします

身体の反動を利用して、前後方向に振ったり、ゆっくりと円を描くように痛い腕を回します。

腕の重みで、関節周囲のストレッチ効果と関節内の圧力を低下させリラックスさせる効果があります。

しっかりとした筋力訓練を行う準備体操としても便利です。

その他の運動は医師やリハビリのスタッフなどと一緒に行う。弱っている筋肉や固くなっている腱をストレッチするなど、体操の指導を受けましょう。



指導される運動は様々で痛めている場所だけでなく、お仕事や家庭での役割などを考慮し、個人に合わせたメニューをご指導します。いくつかイラストで紹介します。無理をせず、痛みのない範囲から大切に治してゆきましょう。

# 医療安全講演会開催



テーマ ダブルチェック再考：

正しい目的のために正しく業務を行う  
脳の特徴を理解して確認行動を説明する

講師 京都大学医学部附属病院 医療安全管理室  
室長/教授 松村由美先生

私達医療者は、医療現場で間違いや失敗を起こさない為、ルールを決めてチェック体制を強化し、システム(機械)を使ってヒューマンエラーを減らすなど、安全な医療を提供できるように取り組んでいます。また、確認作業としてダブルチェックを行っています。しかし、実際は、ダブルチェックを行っても「確認不足・見落とし」などのエラーが発生しており、効果的な対策になっていません。

エラーの原因は、知識や経験不足、業務への慣れや思い込みから脳の誤作動で発生します。ダブルチェックは、エラーを「発見」する方法の1つです。ダブルチェックだけに頼らず、他の方法も組み合わせることでリスクを最小化することが重要であることを再認識しました。

“医療は人が人に提供するもの”で、そこには必ず間違いが生じる危険性をはらんでいます。医療の最前線で、医療行為を行う私達は、自らの役割を意識して“行うべき医療安全行動”を確実に実行する責務があります。常にこのような行動をするように習慣づけ、安全な医療の提供に努めたいと思います。



本人確認は名前と生年月日で  
カクニンじゃ!

# 働く仲間

入職／平成29年4月1日

氏名／伊藤 拓也

放射線技術科 医学物理士



医学物理士という仕事をしています。あまり耳馴染みのない職業だと思いますので軽く紹介させて頂きたいと思います。元々は物理学を勉強していて「現在の宇宙にはなぜ物質があるのか」というテーマを大学で研究していました。その後、医学物理士となり10年ちょっと経ちました。

東名厚木病院にはリニアックと呼ばれる放射線治療装置を立ち上げるために来ました。放射線治療の品質管理と呼ばれる安全を担保するため機器の精度管理や治療計画のチェックなどを行っています。また、高精度放射線治療などの複雑なプランをコンピュータで作成しています。

趣味はアウトドアです。登山をはじめとして沢登りや時には洞窟探検をしたりしていましたが、最近はなかなか行けていないので残念です。

入職／平成25年4月1日

氏名／石田 尚明

ICU 看護師



看護師として働き始めた当初、日々の業務に身を投じながらも看護師として、将来のあり方についてどうあるべきか悩んでいました。他施設での経験や異動を経て、現在はICUの配属となっています。配属当初、ICUには認定看護師が2名所属しており、認定の領域は異なるが自身の専門性を活かした業務を行っていました。看護師という幅のある業種の中で、専門性に特化した活動を行なう姿に興味関心を抱くようになりました。上長にも意思表示をしていく中で、感染管理認定看護師の養成機関への入学が決まり、無事に卒業を迎え認定看護師となるべく準備を進めています。

幼稚じみた言葉ですが、夢や目標を持つことの重要性を改めて実感しました。その道中は険しく辛いこともあります。夢を追うことの楽しさと充実感を共有できたらと思います。

## がん相談支援センターだより

### 早期受診・健診のすすめ

#### 新年明けましておめでとうございます

本年も東名厚木病院およびがん相談支援センターをよろしく願いいたします。報道等では中々熱が引いてきたようにも思われる新型コロナウイルス感染症ですが、医療現場では未だ猛威を振るっております。受診の取りにくさや病床の逼迫等で皆様にご迷惑をお掛けすることも多々あるかと思えます。

しかしこの状況で気になっていることはコロナウイルスの関連からの受診控えが影響しておられるのか、がんが進行した状況で外来を受診される方が増えていると感じています。健康診断についても予約をキャンセルされたり、延期されたりだとかのお話を伺います。

現況としては確かに脅威となっている感染症ではありますが、その為に普通の受診を我慢したり、健康診断を控えたりすることは病気の発見やその後の治療にも影響がでます。基本的な感染対策をきちんとし、必要な受診は躊躇せず早めに行き頂ければと存じます。また、健康診断は病気の早期発見に繋がります。ぜひ、定期的に検査を受けておくことをお勧めいたします。

何か心配なことがあればお気軽にご連絡ください。

がん相談支援センター

## 第1事業部研修会開催

今年度の第1事業部研修会は、「ACPの基本・ACPのプラットフォーム」として、東京ベイ・浦安川崎医療センター 副センター長 総合内科部長の平岡栄治先生からご講演を賜りました。先生は、「終末期のディスカッション」の著者でもあります。

ACPの基本から先生が10年間取り組んでこられたことを具体的な事例を通して、お話をいただきました。

ACP(Advance Care Planning)とは、将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援するプロセスのこと(日本医師会)です。

しかし、医療の現場では、意思決定支援の必要性は、理解していても具体的などのようにしていけばよいか、これでよいのか?と不安と疑問を持ちながら行ってきました。

今回の研修では、意思決定支援のプロセスを事例で学びました。

意思決定支援していくには、エレメント(生活歴)が大切であり、患者さんが大切に思っていること「治療をするうえで大切に思っていることは何ですか?」しないと決めていること「いかなるときも、短期間でもこれだけはしてほしくない医療はありますか?」と「その理由を教えてください」医療・ケアに対する懸念「今後の治療や療養で心配なことはありますか?」、「真実を知りたいですか?」「なぜそう思われますか?」病状の理解。そして、「家族とこれらをお話になっていますか?」を確認し、本人、家族、医師、ケアする人が共有しておくことが重要であると学びました。

2022年度からACP検討委員会を立ち上げました。今回の学びを活かして、患者とその家族が「これでよかった」と思うことができる意思決定支援、共同意思決定(ともに考える意思決定)とチームで共有していく意思決定支援を目指していきたいです。

看護部 小田 和美

# 令和4年 歳時一覽

主な院内行事		主な院内行事	
1	特別養護老人ホームはなの家とむろ 開設10周年 愛川クリニック 開設9周年 介護老人保健施設なでこの里リハビリ ひらつか 開設3周年 BLS研修		
	2	とうめい厚木クリニック 開院20周年 Yangon Japan Medical Centre 開設3周年 2021年度第1回安全・感染・倫理に関する研修会（外部業者向け） イブニングセミナー 「頭部画像診断」 防災訓練/本部機能訓練/安否確認サービス（テスト送信） BLS研修	講師：阿部 敦 医師
	3	訪問看護ステーションもみじ 開設23周年 とうめい綾瀬腎クリニック 開設5周年 2021年度 第2回感染対策講演会 初期臨床研修修了式 中途採用者オリエンテーション BLS研修	
	4	訪問看護ステーションさつき 開設27周年 南毛利地域包括支援センター 開設16周年 マザーホーム戸室 開設6周年 新入職員オリエンテーション 2021年度総括・2022年度目標発表会 BLS研修 三思会杯開催（ミニバスケットボール）	
	5	全館停電検査 BLS研修	
	6	東名厚木病院 開院41周年 東名厚木メディカルサテライトクリニック健診センター 開院30周年 透析センター 開設36周年 ICLS研修 イブニングセミナー 「放射線治療について」	講師：山下 巖 医師
	7	医療安全講演会 「医療安全の視点から見た診療記録」 Web開催  2022年度第1回安全・感染・倫理に関する研修会（外部業者向け） BLS研修	講師：大阪 A & M 法律事務所 小島 崇宏 先生 (弁護士/医師)
8	8	居宅介護支援センター 開設23周年 イブニングセミナー 「早期胃がんに対するESDについて」 BLS研修	講師：川井 貴美子 医師
9	9	介護老人保健施設さつきの里あつぎ 開設25周年 BLS研修 保険診療に関する研修会	
10	10	マンモグラフィサンデー（東名厚木メディカルサテライトクリニック） イブニングセミナー 「骨折リエゾンサービス（FLS）について」 介護職員初任者研修（さつきの里あつぎ内 あつぎ介護職員研修センター/2022年11月18日まで） 2022年度第一事業部研修会 Web開催 「ACP の基本・ACP のプラットフォーム」  防災訓練/安否確認サービス（テスト送信） 緩和ケア研修会 ICLS研修 BLS研修 職員献血	講師：中 正剛 医師  講師：東京ベイ・浦安川崎医療センター 副センター長 総合内科部長 平岡 栄治 先生
11	11	とうめい宮の里クリニック開院 医療安全講演会 Web開催 「ダブルチェック再考：正しい目的のために正しく業務を行う 脳の特性を理解して確認行動を説明する」 中途採用者オリエンテーション 三思会活動発表会 BLS研修 ICLS研修	講師：京都大学医部附属病院 医療安全管理室 室長/教授 松村 由美 先生
12	12	新横浜メディカルサテライト 開院7周年 イブニングセミナー 「脂質の資質」 BLS研修	講師：高坂 佳宏 医師

# 編集後記



●今年の干支は“うさぎ”ですね。スピードを出しすぎず、無理せず自分のペースで穏やかに1年が過ぎればと感じています。(すみれ)



●季節は自然以外でも感じる事ができるということを発見! カレーはないのかな。(お茶がかり)

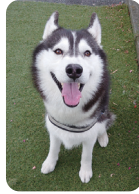


●澄んだ空気、こんな素敵な夜景が見られるのも冬ならではです。(クッキー3)



●寒空の下、小さなミツバチが菊の花から元気よく蜜を吸うのを凝視…大きな元気をもらいました。(豆大福)

## ペットのはなし その72



我が家では、シベリアンハスキー♂4歳を飼っています。名前は愛翔(まなと)と言います。

飼うきっかけとなったのは、ホームセンター内のペットショップにシベリアンハスキーが展示されていました。初めて会ったときは、3ヶ月のパピーで夫と2人で抱っこしたのですが、息子も抱っこしたいと抱かせたら、ぬいぐるみのように離さなくなってしまい、動物を飼うことがどれだけ大変なことや最期までお世話をしなければいけないこと等、息子には通用せず、その日に購入しました。急いで、ケージや水飲み、フードボールなどを購入し、翌々日には自宅へお迎えとなりました。

飼いはじめた当初は何をするのかわからず、帰宅するとケージの中はグチャグチャ、玄関から子供と一緒に出て行き、交番で保護されていたこともありました(汗)

今は、とっても穏やかな性格で番犬にすらならない、人間が大好きなワンコになりました。ハスキーの寿命は10~12年とされているので、これからも家族とたくさん出掛けようと思っています!!

2号館3階病棟 姫野果 看護師



## 各施設の連絡先

### 東名厚木病院

〒243-8571 厚木市船子232  
TEL.046-229-1771 FAX.046-228-0396  
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>

### とうめい厚木クリニック

〒243-0034 厚木市船子237  
TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935  
<https://www.tomei.or.jp/clinic/>

### 透析センター

〒243-8571 厚木市船子232  
TEL.046-229-1771 FAX.046-229-1939  
<https://www.tomei.or.jp/toseki/>

### 愛川クリニック

〒243-0303 愛川町中津2035-1  
TEL.046-284-5225 FAX.046-284-2772  
<https://www.tomei.or.jp/aikawa/>

### とうめい綾瀬腎クリニック

〒252-1107 綾瀬市深谷中1-8-20  
TEL.0467-70-1115 FAX.0467-70-2115  
[https://www.tomei.or.jp/ayase\\_clinic/](https://www.tomei.or.jp/ayase_clinic/)

### とうめい宮の里クリニック

〒243-0216 厚木市宮の里1-2-9  
TEL.046-280-6222 FAX.046-280-6227  
[https://www.tomei.or.jp/miyanosato\\_clinic/](https://www.tomei.or.jp/miyanosato_clinic/)

### 東名厚木メディカルサテライトクリニック 健診センター

〒243-0034 厚木市船子224  
TEL.046-229-1937 FAX.046-227-0677  
<https://www.tomei.or.jp/tams/>

### 新横浜メディカルサテライト 健診センター

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-11 金子第一ビル4F  
TEL.045-471-3855 FAX.045-471-3856  
<https://syms.tomei.or.jp>

●無料送迎バスを運行しています。

詳しくはホームページの無料送迎バス時刻表をご覧ください。  
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>



### 介護老人保健施設 さつきの里あつぎ

〒243-0034 厚木市船子322-1  
TEL.046-227-1188 FAX.046-227-0033  
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/roken/>

### 介護老人保健施設 なでしこの里 リハビリひらつか

〒254-0016 平塚市東八幡4-19-3  
TEL.0463-23-7045 FAX.0463-22-4187  
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/nadeshiko/>

### 厚木市南毛利地域包括支援センター

〒243-0039 厚木市温水西2-27-38 カーネーションパーク1階  
TEL.046-250-1108 FAX.046-250-1105  
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/houkatu/>

### 訪問看護ステーション さつき

〒243-0034 厚木市船子131-1  
TEL.046-228-6556 FAX.046-228-6557  
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/satuki/>

### 訪問看護ステーション さつき サテライト愛川

〒243-0303 愛甲郡愛川町中津3529 スズキビル2F 202号室  
TEL.046-284-6677 FAX.046-228-6688

### 東名厚木病院居宅介護支援センター

〒243-0034 厚木市船子131-1  
TEL.046-227-6557 FAX.046-228-6557  
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/kyotaku/>

### 複合型施設マザーホーム戸室

〒243-0031 厚木市戸室1-29-1  
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/motherhome/>

1F 多機能型事業所「にじいろ」

TEL.046-222-7772

看護小規模多機能型居宅介護事業「いわしぐも」

TEL.046-222-7773

2F 訪問看護ステーション「もみじ」

TEL.046-294-1177 FAX.046-294-1178

3・4F サービス付き高齢者向け住宅「マザーホーム戸室」

TEL.046-222-7755 FAX.046-222-7756